

### Ⅲ 離床を行う上での基礎技術

#### Ⅲ-1. フィジカルアセスメント（呼吸状態）

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
□Ⅲ-1.1 問診	□Ⅲ-1.1.1 模擬患者に対して呼吸器に関する問診ができる	□問診の手順について説明できる	K-04 ベーシ K-07 地方バー R-07 呼吸アセ R-33 マンガ呼 J-06 フィ理 J-07 フィ実		○
		□現病歴・既往歴について聴取できる			○
		□息切れおよび運動負荷のつらさについて問診するスケールを2つ以上挙げられる			☆
		□スケールを使って息切れおよび運動負荷について評価できる			☆
□Ⅲ-1.2 視診・触診	□Ⅲ-1.2.1 視診・触診に必要な手順について理解している	□視診・触診を行う手順について説明できる	K-04 ベーシ K-07 地方バー R-07 呼吸アセ R-33 マンガ呼 J-06 フィ理 J-07 フィ実  フィジ P14		○
		□顔・頸部から得られる視診・触診の所見を5つ以上挙げられる	完全2 P29-P30 フィジ P14-P18		○
		□口唇チアノーゼを呈する機序について説明できる	フィジ P36		○
		□呼吸筋と呼吸補助筋を挙げ、その機能について説明できる	完全2 P29		☆
		□胸部から得られる視診・触診の所見を5つ以上挙げられる	完全2 P29-P31 フィジ P19-P24		☆
		□リトラクションを呈する機序について説明できる	フィジ P20		☆
	□Ⅲ-1.2.2 頸部の視診と肺機能の関係について理解している	□頸部から予測される肺機能について説明できる	K-04 ベーシ K-07 地方バー R-07 呼吸アセ R-33 マンガ呼 J-06 フィ理 J-07 フィ実		◇
	□Ⅲ-1.2.3 適切に視診・触診ができる	□患者に配慮して体表を露出させ準備を行うことができる	K-04 ベーシ K-07 地方バー R-07 呼吸アセ R-33 マンガ呼 J-06 フィ理 J-07 フィ実		◇
		□顔面・頸部と胸部に分けて適切に視診することができる	完全2 P29-P31 フィジ P14-P22		◇
		□適切な用手接触法を用いて触診することができる	完全2 P30-P31 フィジ P19 P22-23		☆
□上葉・中葉（舌区）・下葉に分けて適切に触診することができる		フィジ P19		☆	

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
		<input type="checkbox"/> 視診・触診で得られた所見から病態を推測することができる	完全2 P28-P34 フィジ P14-P25		☆
□Ⅲ-1.3 聴診	□Ⅲ-1.3.1 聴診器について理解している	<input type="checkbox"/> 聴診器の各部位の名称について説明できる	K-04 ベーシ R-33 マンガ呼 J-06 フィ理 J-07 フィ実  フィジ P26		○
		<input type="checkbox"/> ダブルタイプとシングルタイプの違いについて説明できる	フィジ P26-P27		○
		<input type="checkbox"/> チェストピースの機能の違いについて膜型・バル型に分けて説明できる	フィジ P26		○
	□Ⅲ-1.3.2 聴診器を適切に使用することができる	<input type="checkbox"/> イヤーチップの向きに留意して正しく装着することができる	K-04 ベーシ R-33 マンガ呼 J-06 フィ理 J-07 フィ実  フィジ P27		◇
		<input type="checkbox"/> ダブルルーメンタイプの聴診面を確認できる	フィジ P26		◇
		<input type="checkbox"/> チェストピースを正しく把持することができる	フィジ P28-P29		◇
		<input type="checkbox"/> 聴診面を正しく体表にあてることができる	完全2 P33 フィジ P29		◇
	□Ⅲ-1.3.3 適切に聴診することができる	<input type="checkbox"/> 聴診を行う手順について説明できる	K-04 ベーシ R-33 マンガ呼 J-06 フィ理 J-07 フィ実  完全2 P31-P33 フィジ P29-P30		☆
		<input type="checkbox"/> チェストピースを適切にあてて気管音を聴取することができる	完全2 P31-P32		☆
		<input type="checkbox"/> チェストピースを適切にあてて気管支呼吸音を聴取することができる	完全2 P31-P32 フィジ P29-P30		☆
		<input type="checkbox"/> チェストピースを適切にあてて肺胞呼吸音を聴取することができる	完全2 P31-P32 フィジ P29-P30		☆
		<input type="checkbox"/> 聴診で得られた所見から病態を推測することができる	完全2 P32-P34 フィジ P30-P32		☆
	□Ⅲ-1.3.4 肺音分類とその特徴について理解している	<input type="checkbox"/> 肺音分類とその特徴について説明できる	K-04 ベーシ R-33 マンガ呼 J-06 フィ理 J-07 フィ実  完全2 P31-P32 フィジ P30		☆
		<input type="checkbox"/> 聴診する部位による聴診音の違いを3つに分類できる			☆
		<input type="checkbox"/> 異常呼吸音が聴取された時期とタイミングから異常が存在する部位を推測することができる	完全2 P32-P34 フィジ P30-P31		☆
		<input type="checkbox"/> 肺胞呼吸音を聴取できない場合の原因を3つ以上挙げられる	完全2 P32-P33 フィジ P31		☆

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
		<input type="checkbox"/> 肺胞呼吸音が呼気にも聴取された場合の原因について説明できる	完全2 P32-33		☆
□Ⅲ-1.4 打診	□Ⅲ-1.4.1 打診に必要な基礎知識について理解している	<input type="checkbox"/> 打診によって肺の位置を特定できる	J-07 フィ実		◇
			完全2 P33-P34 フィジ P32-P34		
	□Ⅲ-1.4.2 適切に打診ができる	<input type="checkbox"/> 被打診側の指を体表に密着することができる	J-07 フィ実		☆
			フィジ P32		
		<input type="checkbox"/> 打診指を被打診指にあてることができる	フィジ P32		☆
		<input type="checkbox"/> 打診側の手首・指を動かすことができる	フィジ P32		☆
		<input type="checkbox"/> 部位で叩き胸郭の状態を把握することができる	完全2 P33-P34 フィジ P32-P34		☆

大項目	中項目	小項目	確認印
／ 4	／ 10	／ 38	

Ⅲ  
1  
フィジカルアセスメント（呼吸状態）

中項目の点数はP153に転記して下さい